

平成二十三年
いのち

生命の言葉

五月

あさみどり すみわたりたる 大空の
広きをおのが 心ともがな

明治天皇

裏面もご覧下さい。

五月 生命の言葉

浅緑に澄みわたりたる境地は、その清
浄、正直の心を表し、大空の広さは度
量の大きさ、睦び和む精神に当たる。

『明治天皇御集』

明治天皇 (めいじてんのう)

一八五二〜一九二一年。神道の教えは「清く、正しく、
睦まじく」生きるためである。人は独りで清く生き
ていくだけでは十分ではない。多くの人との協同生
活をするうえで、助け合い、伸ばしあい、許しあう和
合の道が必要である。この清浄、正直、睦和の三つの
徳目をさわやかな空に託して歌い上げたもので、私
たちの心にすがすがしく響いてくる。

躑躅咲く頃のご参拝、皆さまの願い事はきっと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮